

Mizuho Daily Market Report

2024/4/30

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	155.60	156.35	▲1.98	+1.50
EUR	1.0716	1.0721	+0.0028	+0.0066
AUD	0.6564	0.6567	+0.0034	+0.0117
SGD	1.3600	1.3597	▲0.0031	▲0.0023
CNY	7.2467	7.2290	▲0.0174	▲0.0146
MYR	4.7722	4.7675	▲0.0005	▲0.0093
THB	37.09	37.03	+0.07	+0.04
IDR	16252	16255	+45	+20
PHP	57.70	57.69	▲0.01	+0.14
INR	83.44	83.47	+0.12	+0.10
VND	25346	25345	+6	▲89

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.614%	▲4.9 bp	+0.5 bp
日本(10年)	0.891%	+0.0 bp	+0.1 bp
ユーロ圏(10年)	2.532%	▲4.3 bp	+4.6 bp
オーストラリア(5年)	4.171%	▲3.1 bp	+21.2 bp
シンガポール(5年)	3.377%	+0.7 bp	+2.3 bp
中国(5年)	2.205%	+7.1 bp	+12.9 bp
マレーシア(5年)	3.809%	+0.2 bp	+5.5 bp
タイ(5年)	2.556%	+0.2 bp	+5.6 bp
インドネシア(5年)	7.154%	+4.7 bp	+11.1 bp
フィリピン(5年)	6.782%	▲0.4 bp	+0.6 bp
インド(5年)	7.196%	+1.9 bp	▲0.7 bp
ベトナム(5年)	2.230%	+0.0 bp	▲1.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,386.09	+0.4%	+0.4%
N225(日本)	37,934.76	+0.0%	+1.3%
STOXX50(ユーロ圏)	4,981.09	▲0.5%	+0.9%
ASX(オーストラリア)	4,435.18	+0.3%	+1.7%
FTSE(シンガポール)	3,282.05	+0.1%	+1.8%
SSEC(中国)	3,113.04	+0.8%	+2.2%
SENSEX(インド)	74,671.28	+1.3%	+1.4%
JKSE(インドネシア)	7,155.78	+1.7%	+1.2%
KLSE(マレーシア)	1,582.66	+0.5%	+1.5%
PSE(フィリピン)	6,769.64	+2.1%	+5.1%
SETI(タイ)	1,361.97	+0.1%	+0.9%
VNINDEX(ベトナム)	1,209.52	+0.0%	+1.6%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	295.30	▲0.5%	▲0.9%
金	2,335.66	▲0.1%	+0.4%
原油(WTI)	82.63	▲1.5%	▲0.3%
銅	10,063.90	+2.1%	+3.3%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	155.60	—	160.40
EUR/USD	1.0540	—	1.0850
AUD/USD	0.6390	—	0.6690
USD/SGD	1.3500	—	1.3680
USD/CNY	7.2050	—	7.2680
USD/INR	4.6460	—	4.8050
USD/THB	36.00	—	37.50
USD/IDR	16080	—	16300
USD/PHP	55.90	—	58.00
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	25,000	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は158円台でオープン。前週末の流れを引き継ぎ底堅く推移すると、東京休日で流動性の薄い中、午前中に急伸し一時160円超えを挙げた。しかしすぐに159円台後半まで押し戻されると、今度は昼頃から大きく下落する展開。日本銀行による円買い介入と思し急な動きにドル円は155円ちょうど近辺まで下げたが、本邦財務省の幹部は為替動向に対し「今はノコメント」と発言。その後は徐々に下げ幅を縮小し、157円台前半レベルで海外時間へ渡った。アジア通貨は概ね横ばいの推移となる中、前週金曜日に発表された底堅い米PCEの結果等を背景にインドネシアルピアは約0.3%下落。

海外市場のドル円は156円台前半でNYオープン。同日は注目の米経済指標の結果発表を控えていない中、午前中は低下していた米金利が戻す展開を横目に、ドル円は156円台後半まで上昇。午後には一時155円ちょうど近辺まで売られる等神経質な値動きを見せる場面もあったが、米金利高の展開が支えとなり反発し、156前半クローズした。

【金利】

週明け月曜日の金利市場は、長期を中心に低下しレールドカーブはフラット化。主要指標発表が少なく材料に乏しいなか、前週末の流れを引き継いだ債券買いや、FOMCを今週半ばに控えての調整買いなどで買い優勢の流れが持続。10年債の利回りは4.6%台まで下げて引けた。

【予想】

ドル円市場はチョッピりな動きが続く中、本日ドル高円安基調は継続と予想。引き続き為替は各国の金融政策次第。米FRBについては利下げ開始時期が後退する一方日銀は緩和継続の姿勢は今のところ大きく変わっておらず、また月末の5・10日ということもあり輸入企業によるドル買いから円が売られやすい地合いは継続を予想。他方、一旦は160円がレジスタンスとして意識されやすいか。

【本日の予定】

(日本) 3月 住宅着工件数 / 住宅着工戸数
(日本) 3月 失業率 / 有効求人倍率
(日本) 3月 鉱工業生産(速) / 小売売上高 / 百貨店・スーパー売上高
(アジア) 3月 インド インフラ産業8業種
(アジア) 3月 シンガポール シンガポール国外居住者預金・残高
(アジア) 3月 タイ 国際収支:経常収支
(アジア) 3月 フィリピン 銀行貸出動向
(アジア) 3月 豪 小売売上高
(アジア) 3月 豪 民間部門信用
(アジア) 4月 中国 Caixin製造業PMI
(アジア) 4月 中国 製造業PMI / 非製造業PMI
(アジア) 休場 ベトナム
(欧州) 1Q ユーロ圏 GDP
(欧州) 1Q 独 GDP(速)
(欧州) 3月 英 消費者信用残高 / 住宅証券融資高 / 住宅ローン承認件数
(欧州) 4月 ユーロ圏 CPI(速)
(欧州) 4月 仏 CPI(速)
(欧州) 4月 独 失業率 / 失業保険申請率
(欧州) OECD閣僚会議(パリ)
(米国) 1Q 雇用コスト指数(確)
(米国) 2月 FHFA住宅価格指数
(米国) 4月 MNFシカゴPMI
(米国) 4月 コンファレンスボード消費者信頼感
(米国) 4月 ダラス連銀サービス業活動

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。